

大山隠岐国立公園

◀ 島根半島地域 ▶

● Daisen-Oki National Park



日御碕



地蔵崎とノアザミ

環境省 中国四国地方環境事務所

国立公園とは

日本を代表するすぐれた自然風景地について国が指定し、管理する公園を国立公園といいます。そこに生きる動植物をはじめ、質の高い自然を保護するとともに、国民がその自然から学び、自然と親しむためのものです。

現在、北は利尻礼文サロベツから南は西表まで、全国に28の国立公園が指定されています。

大山隠岐国立公園の概要

●指 定 昭和11年2月1日(隠岐島地域編入昭和38年4月10日)
(島根半島地域編入昭和38年4月10日)
(三瓶山地域編入昭和38年4月10日)
(蒜山区域拡張昭和38年4月10日)
(毛無山区域拡張平成14年3月26日)

●面 積 陸域35,053㊦ (島根半島地域2,787㊦)
海中公園地区57.5㊦ (島根半島地域7.0㊦)

●都道府県 鳥取県・島根県・岡山県

●特 徴 中国地方の最高峰、大山をはじめ、蒜山、三瓶山などの火山群とその山麓の高原地帯、島根半島のリアス式海岸、隠岐の火山群島などがあります。植物は、山岳部と海岸部の両方のものがみられ、貴重な動物の繁殖地にもなっています。

●環境省中国四国地方環境事務所 (Tel)086-223-1577(代表)
〒700-0984 岡山市桑田町18-28 明治安田生命ビル1F

●公園についてのお問い合わせ先

環境省米子自然環境事務所 (Tel)0859-34-9331
〒683-0067 鳥取県米子市東町124-16米子地方合同庁舎

松江自然保護官事務所 (Tel)0852-21-7626

〒690-0015 島根県松江市上乃木5-17-31

大山隠岐国立公園と島根半島

大山隠岐国立公園は、大きく分けて鳥取県の大山と岡山県の蒜山を中心とした大山・蒜山地域、それに島根県の三瓶山地域、島根半島地域、隠岐島地域の4つの地区から構成されています。

国立公園としての歴史は、大山が西日本を代表する山岳景観として昭和11(1936)年に大山国立公園として指定されたことに始まります。

その後、昭和38(1963)年に三瓶山・隠岐山・島根半島・蒜山の各地域が編入されるとともに名称も変更され、現在の鳥取・島根・岡山の3県にまたがる大山隠岐国立公園となり、今日に至ります。

島根半島の成り立ち

●国引き神話の世界
神代の時代、八束水臣津野命が三瓶山と大山を杭にして他の国の余っている部分を引き寄せてつくったのが島根半島と伝えられています。その時の引き綱が今の長浜と弓ヶ浜になったとも伝えられています。

●地質学の世界

何億年も昔からの火山活動によって隆起と沈降を繰り返し、何度も陸や海になったりしていた島根半島は、今から7,000～4,000年前、それまで中国山地と陸続きであったものが、激しい断層活動で中央部が陥没し、大きな海峡(今の中海・宍道湖・出雲平野にあたる)ができたことで、横長の島となりました。

その後、斐伊川や日野川等の沖積作用により、出雲平野・松江平野・弓ヶ浜半島が形成され、現在の地形となったと考えられています。

島根半島西部の自然と歴史

●自然環境

隆起海岸からなり、海蝕崖・海蝕洞・海蝕段丘がありなす景観が見事です。また、大社から日御碕に至る海岸線は、溶岩から成る多くの小島が多島景観を生み出しています。さらに、日御碕や経島周辺は、柱状節理からなる独特の景観で特徴付けられています。

●歴史

出雲大社に代表される出雲文化の中心であり、神代の時代から伝えられる歴史の古さは国内随一です。

島根半島ミニ百科

●国内有数のウミネコの自然繁殖地である経島
柱状節理からなる島の姿が、まるで万巻の経文を積み重ねたように見えることから「経島」と呼ばれています。

ここは国内有数のウミネコ繁殖地として知られ、12月から7月まで、ウミネコが生息しています。

●出雲大社

「大黒様」・「福の神」・「作り神」・「縁結びの大神」と多くの名前と呼ばれ表され、崇められている大国主命を祭神とし、出雲文化の中核を成している出雲大社は、日本を代表する神社の1つです。

●湊原ふるさといきものふれあいの里

動植物の自然の営みを学習することが出来る「浜遊自然館」や実際に観察できる「親水池」等で自然のしくみを体験しながら学べる施設です。

●東洋一の高さを誇る日御碕灯台

石積の灯台としては東洋一の高さ38.8mを誇ります。最上部の展望台からは、日御碕一帯の海岸線を一望できます。

●日御碕に至るまで

出雲大社から日御碕に至る海岸線は、溶岩からなる小島がありなす多島景観が見事です。

●日御碕神社

素盞鳴尊を祀る神の宮と天照大御神を祀る日沈宮からなります。



日御碕灯台



日御碕神社



経島



出雲大社



トキワイカリソウ

凡	例
 特別地域	Ⓐ 園地
 普通地域	P 駐車場
 海中公園地区	
 車道	
 歩道	

[地種区分とは] 国立公園は、景観や風致を維持するために、次の様な地種区分でランクづけされています。

区 分	特 徴	規 制
特 別 地 域	特別保護地区に次ぐ大切な地域	建物等をつくるときに許可が必要
普 通 地 域	一般の生活や産業等も営まれている地域で、特別地域に次ぐ大切な地域	建物等をつくるときに届けが必要
海中公園地区	公園の海中景観を代表する地区	サンゴ、魚介類等の採取を禁止

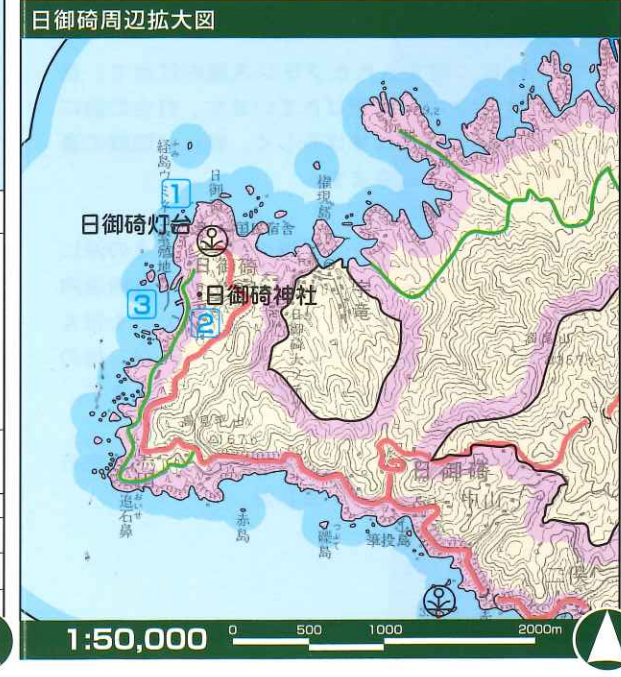
1:65,000

0 500 1000 2000m



大山隠岐国立公園

< 島根半島(西部)地域 >



1:50,000

0 500 1000 2000m



島根半島東部の自然と歴史

●自然環境

地蔵崎周辺にみられる出入の激しい海岸線や加賀潜戸・多古七穴に代表される海食洞門といった変化に富んだ海岸線に代表されます。

●歴史

出雲大社と深いかかわりを持つ美保神社や、海を行く船の目印とされてきた関の五本松など、歴史ぶかい地域です。

島根半島ミニ百科

●加賀潜戸

新旧2つの潜戸があります。加賀の築港岸壁の正面に見える大きな海食洞門が「旧潜戸」で、「賽の碛」として知られています。「新潜戸」は加賀港湾の先端に切り開かれた長さ200m、3つの入口を持つ海中洞窟で、佐太神社に祀られている佐太大神（猿田彦大神とも）の生誕地として伝えられています。

●多古七穴

多古鼻岬の絶壁にできた大小4つの海食洞で、海の上からは7つの入口があるように見えることから名づけられました。

●美保北浦

複雑に出入する海岸景観が見事です。

●海水浴場・キャンプ場

山陰屈指の海水浴場としても有名な「北浦」や加賀潜戸にほど近い「桂島」や「小波」、日御碕周辺では「おわし浜」といった海水浴場のほか、公園内各所にキャンプ場も整備されています。加賀や日御碕からは、グラスボートで海岸や海底の遊覧も楽しめます。また、多古や日御碕周辺の海域は近年、ダイビングスポットとしても注目されています。

●地蔵崎

海岸線は断崖が続き、日本海の雄大な眺めが望めます。視界の良い時には大山や隠岐島を望むことができます。

●美保神社

大国主神の御后神：三穗津姫命と大国主神の第一御子神：事代主神を祀る。事代主神は、海上安全、商売繁盛他に大きな御利益がある「恵比寿様」でもあり、美保神社は全国各地にある恵比寿社の総社でもあります。

●美保関灯台

明治31年に建てられたフランス風の灯台で、世界歴史的灯台百選にも選ばれています。灯台の前に広がる日本海の眺めはすばらしく、時には隠岐の姿も目にすることが出来ます。

●沖の御前・地の御前

地蔵崎灯台直下に浮かぶ「地の御前」とその沖に浮かぶ「沖の御前」。どちらも美保神社の飛地境内であり、地の御前は事代主命が釣りをしたとも伝えられています。灯台の脇にある選拝所からは、地の御前・沖の御前が一直線上に望むことができます。

●関の五本松

美保関港と見下ろす山上にあり、昔は近海を航行する船の目印ともなっていました。

位置図



大山隠岐国立公園 <島根半島(東部)地域>



美保関灯台

島根半島周辺拡大図



北浦海水浴場



美保北浦



美保神社

凡		例	
	特別保護地区		園地
	特別地域		野営場
	普通地域		宿舎
	車道		駐車場
	歩道		

[地種区分とは] 国立公園は、景観や風致を維持するために、次の様な地種区分でランクづけされています。		
区分	特徴	規制
特別保護地区	公園の一番大切な地域	動植物(落葉落枝も含む)や石等の採取も禁止
特別地域	特別保護地区に次ぐ大切な地域	建物等をつくるときに許可が必要
普通地域	一般の生活や産業等も営まれている地域で、特別地域に次ぐ大切な地域	建物等をつくるときに届出が必要